

令和4年度 教 育 目 標

1 学校教育目標

「質実剛健」を校訓とし、「技術者となる前に人間となれ」を信条として、新時代を主体的・創造的に生き、知徳体※1をそなえ、地域の希望となり未来となり光となって、山梨や日本を支え、世界に羽ばたくエンジニアを育成する。 ※1 知：「確かな学力」 徳：「豊かな心」 体：「健やかな体」

2 指導方針

- 1 新しい時代に必要な資質・能力※2を育むと共に、地域社会や産業界に貢献できる人材を育成する。 ※2 『確かな学力』としての資質・能力：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」
- 2 人間教育を最重点に「ものづくり」「進学」「部活動」の各分野で全国トップレベルの工業高校を目指す。
- 3 次世代を見据えた人材育成『ハイパー甲府工業構想』を推進する。

3 指導重点

1 社会が必要とする人間力を育成する。

- (1) 基本的生活習慣の定着を図り、規範意識を育む。〔社会性〕
- (2) あらゆる場を道德教育の機会と捉えて人間教育を行う。〔道徳性〕
- (3) 社会人としての基礎力を育成し、自らの考えで行動できる力を育む。〔主体性〕
- (4) 地域社会や企業との連携を図り、それらの体験活動を通して社会の一員としての自覚と責任をもたせ、社会に貢献できる人を育てる。〔社会貢献〕

2 基礎的・基本的な学力の定着を図る。

- (1) 主体的・対話的で深い学びの授業を実施する。〔アクティブ・ラーニング〕
- (2) 学科の特色を生かした専門教育を展開し、興味・関心をもたせ学習意欲を向上させる。〔スペシャリスト育成〕
- (3) 目指す技術者をイメージさせ、資格取得・大会等への挑戦を通して進路実現を図る。〔自己肯定感・自己実現〕
- (4) 教育活動全体を通して話す力、聞く力、書く力、読む力を育成する。〔コミュニケーション力〕

3 健全な心身を育成する。

- (1) 部活動・委員会活動をより活発に展開し、豊かな人間性を育む。〔協調性・協働力〕
- (2) 体育・スポーツを積極的に推進し、体力・精神力の向上を図る。〔自己管理能力〕
- (3) 健康、安全や食に関する教育を行い、自他の生命を尊重する心を育む。〔安全教育〕

4 新しい時代に対応した教育活動を推進する。

- (1) スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)事業の成果を活用する。〔課題解決力・創造力〕
- (2) 系統的・体系的なキャリア教育を推進し、勤労観や職業観を育成する。〔勤労意識〕
- (3) 専攻科創造工学科において、高度な知識や技術・技能、設計力の育成を推進する。〔設計力〕
- (4) 学校教育全体において、ICT機器を活用できる力を育む。〔Society 5.0※3〕

※3 Society 5.0：人工知能(AI)、ビックデータ等を活用して仮想空間と現実空間を融合させた人間中心の社会の姿